

デジタル版『渋沢栄一伝記資料』 公開記念シンポジウム

渋沢栄一記念財団では、2016 年 11 月にデジタル版『渋沢栄一伝記資料』をインターネットを通じて公開します。

『渋沢栄一伝記資料』(以下『伝記資料』)は、渋沢栄一(1840-1931)に関する書簡、日記、企業史料、公的な文書、書籍・雑誌記事などを集めた資料集です。このたびデジタル版の第一弾として本編 57 巻分、約 40,000 ページをテキストと画像で公開することにより、オンラインでの検索、閲覧が可能となります。

本シンポジウムでは、この機に『伝記資料』の成り立ちと意義を振り返るとともに、デジタル版『伝記資料』の利用・活用法を紹介し、今後の可能性や課題について話し合います。また、参加者に実際にデジタル版『伝記資料』をお使いいただき、担当者がさまざまな疑問、質問にお答えするデモンストレーションも実施します。

2016年12月3日(土) 午後1:30～5:30 (開場1:00)

会場：渋沢史料館会議室 (東京都北区西ヶ原2-16-1 飛鳥山公園内)

主催： 公益財団法人 渋沢栄一記念財団 渋沢研究会

【プログラム】

- 報告 1 『渋沢栄一伝記資料』の成り立ち、その意義／井上潤 (渋沢栄一記念財団事業部部長、渋沢史料館館長)
- 報告 2 歴史哲学とデジタルリソース／平井雄一郎氏 (渋沢研究会)
- 報告 3 デジタル版『渋沢栄一伝記資料』の概要／井上さやか (渋沢栄一記念財団情報資源センター)
- 報告 4 デジタル版『渋沢栄一伝記資料』の可能性～研究、教育の現場から／山口輝臣氏 (東京大学大学院准教授)

休憩

- コメント 1 大島久幸氏 (高千穂大学教授)
- コメント 2 武田晴人氏 (東京大学名誉教授)
- ディスカッション、質疑応答

デジタル版『渋沢栄一伝記資料』デモンストレーション

要事前申込 先着順 (定員 40 名)

参加無料 (渋沢史料館のご見学には入館券が必要です)

申込方法： 渋沢栄一記念財団のウェブサイトからお申込みいただくか、Eメール、電話、ファックスにて、
①お名前 (ふりがな) ②ご所属 ③ご連絡先電話番号をお知らせください。渋沢研究会会員の方はその旨お知らせください。
お申込みが定員に達しご参加いただけない場合はお知らせします。

申込み・問合せ：公益財団法人渋沢栄一記念財団 研究センター

TEL 03-3910-2314

HP

<http://www.shibusawa.or.jp/>

FAX 03-3910-2849

Eメール

researchcenter@shibusawa.or.jp

【渋沢史料館案内図】



『渋沢栄一伝記資料』

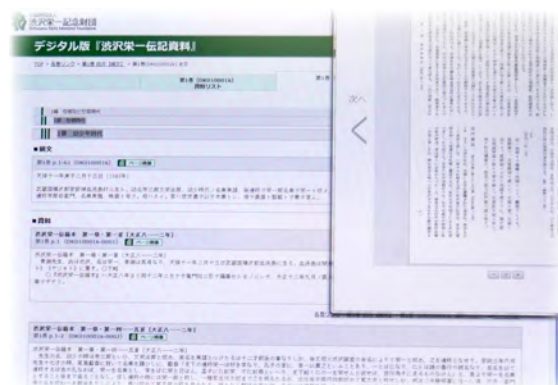
『渋沢栄一伝記資料』(以下『伝記資料』)は、渋沢栄一(1840-1931)の事績にとどまらず、幕末から昭和に至る経済、政治、外交、社会、教育、宗教、文化、学芸など種々の情勢を知ることができる全68巻の資料集です。栄一の活動を記録に基づいて詳細に伝えるだけでなく、彼が生きた時代の情勢を研究・調査するうえでも基本的かつ重要な文献となっています。

- 内 訳：本編 58巻、別巻 10巻
- 刊行年：1955年～1971年(本編：1955～1965、別巻：1966～1971)
- 編纂者：渋沢青淵記念財団竜門社(本編、別巻)
- 発行者：渋沢栄一伝記資料刊行会(本編)、渋沢青淵記念財団竜門社(別巻)
- 総ページ数：約48,000ページ
- 本編第1～57巻の総ページ数：約40,000ページ
- ポイント：渋沢栄一の事績だけでなく、日本近代史研究の基礎資料として活用ができる



デジタル版『渋沢栄一伝記資料』

渋沢栄一記念財団は、2004年より『伝記資料』のデジタル化に取り組んできました。今般のデジタル版『渋沢栄一伝記資料』では、第一弾として本編58巻のうち索引巻(第58巻)を除く第1～57巻、約40,000ページのデータを公開します。これにより『伝記資料』掲載のテキストとページ画像を、インターネットを通じて検索、閲覧することができます。必要な情報へのアクセスが容易になることで、『伝記資料』の情報資源としての有用性も飛躍的に向上することが期待されます。



<https://eiichi.shibusawa.or.jp/denkishiryō/digital/main/>

デジタル版『渋沢栄一伝記資料』に関するお問い合わせ
公益財団法人渋沢栄一記念財団 情報資源センター
Tel: 03-3910-0029 Fax: 03-3910-0085
E-mail: center_info@shibusawa.or.jp